

# NEWSWAVE

発行  
株式会社 常陽経営コンサルタンツ

新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

## 500円ワンコインでもお徳感満喫 短時間さが受け「切り売り」も効果

500円玉1個で受けられるワンコインサービスが人気だ。長引く不況で収入減をカバーする目的でも500円の割にはお徳感がある。そんな中で特徴の一つが「切り売り」というサービス。元はセットになっていたものや長時間かかっていたようなサービスの一部を切り取り、その代わり安価にしてしかも短時間で利用できるようにしたもののことをいう。

例えば、英会話教室にはワンコイン英会話（東京・中野「アイランドアプレ」）という30分間のレッスンが外国人講師から受けられる。時間帯は昼休みで、予約すればお茶をしながら英語で談笑できる。正規に教室に行けない人向けの切り売りである。ワンコイン健診（東京・中野「ケアプロ」）も切り売りの一種。毎日20～30

人が検診に来る。看護師のサポートを受けながら自分で採血器具を使い採取し、血糖値や中性脂肪など4種類を試薬で調べる。1種類が500円、1セット（4種類）なら1,500円とさらに安くなる上、5～7分で検査結果が出るという手軽さも後押しし、人気店となっている。

女性専科で価格35,000円の補正下着のリース（京都市「アンベリーヌ」）は、3ヶ月目から500円（2ヶ月間は月額3,900円）となり、満期の36ヶ月借りても買うより1万円お徳となる。また、500円でお試し体験できる料理教室やスポーツクラブなどもある。「必要なものだけ必要な時に」（ジャスト・イン・タイム）—安く・早く・効率よく生きたい生活の知恵といえよう。

## 実地調査の約34%は赤字法人調査 14%の約7千件が黒字法人に転換

今年6月までの1年間（2008事務年度）における法人の黒字申告割合は29.1%と初めて30%を割り込み、7割強の法人が赤字となった。ところが、このような状況に便乗して、実際は黒字なのに赤字を装う企業が後を絶たない。

2008事務年度中に法人税の実地調査をした14万6千件のうち、約34%にあたる4万9千件は無所得申告法人の調査に充てられ、うち14.1%の6,956社が実際は黒字だったことが、国税庁のまとめで判明した。

調査結果によると、実地調査した4万9千件のうち約70%にあたる3万4千件から総額5,006億円にのぼる申告漏れ所得金額を見つけ、加算税額を含む396億円の税額を追徴した（消費税の追徴税額は207億円）。調査1件あたりの申告漏れ

所得金額は1,458万円となる。

また、実施調査したうちの4件に1件（約25%）の1万2千件は、仮装・隠ぺいなど故意に所得をごまかしており、その不正脱漏所得金額は1,581億円にのぼった。

2008事務年度は無所得申告法人調査は、前年度に比べ6.6%増の実地調査を行い、申告漏れ件数が5.3%増、不正計算のあった件数6.2%増とともに増えている。

この結果、約7千社の法人が黒字となったが、調査で把握された1件あたりの申告漏れ所得1,458万円は、前年度より13.6%増加しており、法人全体の平均991万円を大幅に上回る。不正申告1件あたりの不正脱漏所得金額は1,310万円だった。